

# ☆練馬区長賞

## 『国民を支える税金』

### 練馬区立大泉中学校 三学年

### 保坂 莉央

私たちの生活に欠かせないものの一つに、「税金」があります。税金というと、大人がお給料から払うお金というイメージが強く、私たち中学生にはまだ関係がないように思えます。しかし実際には、買い物をするたびに消費税を払っているので、私たちもすでに税金と関わって生活しています。つまり税金は子どもも大人も含め、社会のすべての人と関わっている身近な存在だといえるのです。

では、なぜ税金は必要なのでしょう。税金は国や地域が私たちの暮らしを守るために使う大切なお金です。例えば道路や橋、公園や学校、病院などは私たちが自由に使っていますが、これらを作ったり直したりするには大きなお金がかかります。もし税金がなければ、その費用を一人一人が負担しなければならず、とても生活できないでしょう。さらに警察や消防の活動にも税金は欠かせません。これらは「いざというとき」に私たちを守ってくれる存在であり、安心して暮らすために

必要です。つまり税金は、社会全体で協力し合うための仕組みだといえます。

私は、税金には「みんなで分け合うやさしさ」があると思います。お金に余裕のある人もない人も同じ社会で暮らす以上、少しずつ負担を分け合うことは大切です。特に病気や事故など誰にでも起こり得る困難を乗り越えるために税金は役立ちます。例えば救急車を無料で使えるのも税金のおかげです。有料であれば命を守れない人も出てくるでしょう。そのため、税金は命を守る盾のようだと感じます。

一方、不満や疑問もあります。消費税は全ての人から同じ割合で取られるため、収入の少ない人ほど負担になります。また、政治家が税金を不正利用しているというニュースを見ると正しく使われているのか不安になります。税金の不正利用は協力してお金を納める国民への裏切りです。税金はもっと透明で正しく使われるべきだと思います。

税金は私たち中学生にとっても遠い存在ではありません。これから成長して大人になり、本格的に税金を納める立場になったとき、税金を「取られるお金」ではなく「みんなの生活を支えるためのお金」だと理解することが大切です。

税金について考える中で、想像以上に私たちの生活が税金によって守られていることが分かりました。私は将来、「不満」ではなく「安心」をより感じられる社会であってほしいです。そのため、税金がよりよい社会づくりにつながるように正しく使われることを望みます。

また、私たちが政治や選挙に関心を持つこともよりよい社会づくりにつながります。自分の意見を持ち、選挙などでそれを発揮することにより国民の希望に沿う政治になります。そのため、今から政治や税金に関心を持ち、自分にできることを考えていきたいです。